

こんにちは 牛越です

【第155回】

コロナ禍に
DX化進む



大町市長 牛越徹

緑がいつそう濃さを増し、先月中旬には、既に気温が33度を超え、梅雨末期の雲間の陽光にも真夏を感じるようになりました。新型コロナウイルス感染症の位置付けも変わり、社会、経済活動の回復もいよいよ本格化し、元の平穏な日常を取り戻しつつあります。

一方で、コロナ禍の中、市内の官公庁や事業所などでも、密を避けるため、分散出勤や自宅などでのリモートワークにより、急速にDX(デジタル改革)が進みました。小・中学校では、ギガスクールの取り組みにより、ICT機器の教育環境が一気に整備され、学校や自宅での学習に活用できるようにになりました。

市役所でも、以前からのコンビニ店での証明書類の交付に続き、窓口での混雑を避け迅速に手続きを進める「らくらく窓口交付サービス」を開始しました。さらに、本年度から窓口でのキャッシュレス決済の導入を予定しており、利便性の向上を目指します。また従前から、農作物を猿の被害から守るため、IoTセンサーを活用した大型捕獲檻の遠隔システムを導入し、効果を上げています。

行政管理の効率化では、冬季の市道除雪に備え、除雪業務の管理システムの導入を目指しています。また、内部手続きをパソコンで行う電子決裁システムにより、職員の出勤、時間外勤務管理の電子化を進めるほか、AIによる会議録作成システムを活用しています。今後、こうしたITを活用した行政の変革をいっそう進め、市民サービスの向上や行政の簡素効率化を目指すこととします。

いよいよ本格的な夏山シーズンを迎えました。遠方からのお客さまをお迎えし、案内して私も一緒に爺ヶ岳に登りました。山登りは久しぶりで、14年ほど前に、富山市長さんとの山岳サミットで二俣蓮華岳に登った時以来です。

一時雨に遭いましたが、頂上からの眺めは、眼下に大町市街地が広がり、街並みが手に取るように見渡せました。山の一夜の宿は、種池山荘にお世話になり、汗をかき登った疲れもすっかり忘れ、同宿の皆さんと山談議に花が咲きました。市民の皆さまにも、ぜひ身近な北アルプスに登り、爽やかな夏山を体感していただきたいと思います。